

第 1 回 桑名市総合計画審議会（計画進捗管理） 会議概要

日時・場所	<p>平成 27 年 9 月 30 日（水） 13：30 ～ 17：00</p> <p>桑名市役所本庁舎 3 階 第 2 会議室</p>
出席者	<p>委員：6 名</p> <p>専門家（行政改革推進委員）：2 名</p> <p>事務局：5 名</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 会長及び副会長の選任 5 桑名市総合計画の進捗管理について <ul style="list-style-type: none"> ビジョン 1：中央集権型から全員参加型の市政に ビジョン 2：命を守ることが最優先 ビジョン 3：こどもを 3 人育てられるまち ビジョン 4：世界に向けて開かれたまち ビジョン 5：地理的優位性を活かした元気なまち ビジョン 6：桑名をまちごと「ブランド」に 6 その他 7 閉会
概要 (主な意見)	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 会長及び副会長の選任 <ul style="list-style-type: none"> ・委員長に西村訓弘委員、副委員長に小笠原まき子委員が選任。 5 桑名市総合計画の進捗管理について ※ビジョンごとに意見を集約 <ul style="list-style-type: none"> 【ビジョン 1：中央集権型から全員参加型の市政に】 <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動センターが市民活動団体の取り次ぎ役、ワンストップ窓口としてこれまで以上に機能すれば、市民活動が一層活性化するのではないか。 ・自治会の加入率が低いように感じる。市の予算が減りイベント等が減少しているからなのか、若い世代が自治会に入りやすい環境づくりが大切だ。 ・男女共同参画の部分とも重複するが、家庭、職場、社会環境が整わないと子育てしやすい環境とならず、行政として総合的な取り組みをお願いしたい。

【ビジョン②：命を守ることが最優先】

- ・自主防災組織への若者の参加が少ない。一方で、子どもの登下校見守りなど自主防犯は関心が高いが、自主防災は不要だという声がある。
組織の体制がフラック、フラットなものだと集まりやすいのかもしれない。若者を取り込む入口、チャンネルはいろいろあるはず。関心の高いものから取り組む仕組みがあれば良い。行政からの情報発信をお願いしたい。
- ・命を守る部分は行政の役割がとても大きい。行政が明確な方針を立てて市民に伝え、市民は何ができるのかを考えることが大切だ。
- ・木造住宅の耐震化は、診断は進んでいるが、耐震工事までいく人が少ない。一定の基準を満たさないと補助金が出ないことも原因ではないか。県内には水準を緩和して補助金を交付している自治体があるようだが、桑名市も緩和できないか。病気になってから病院に行くのではなく、病気になるないように病院に行くほうが安上がりで健康だ。課題が出てから動くのではなく、起こる前に対応することが重要。こうした視点を持って取り組まれない。
- ・市民の中には避難所に行けば何でもあると思われる人もおり、周知が大切だ。
- ・新病院の整備や医師の確保にご尽力いただきたい。

【ビジョン3：こどもを3人育てられるまち】

- ・市として子どもたちをどう育てていくのか。家庭の宝、市の宝としてオープンに議論していくことが大切だろう。
- ・いまは共働き世帯が多い。特に小学校低学年は早い時間に帰宅するため、学童保育は各学校区にひとつずつ欲しい。小学校の教室でも良いので使わせて欲しいと思う。
待機児童については、特に多度地区は充足していると感じている。
- ・桑名市は中学生から医療費が発生する。中学生まで無料化をお願いしたい。
- ・人権教育については、同和問題だけではなく、外国人など総合的に見ていくことが大切である。

【ビジョン4：世界に向けて開かれたまち】

- ・日本人は英語で苦勞する。幼少期に海外に触れることはよい。こうした環境を整える事業、施策はあると良いと思う。
外国人と躊躇なくコミュニケーションをとる機会、市内に暮らす外国人をサポートする体制を整えていくことが桑名市には欠けているかもしれない。
- ・英語は使うことで、生きたものとなる。そういう環境が桑名市で用意できるのか。英語に触れさせる、慣れさせる機会をどれだけ作れるか。いまの教育は英語を苦手にする、嫌いにさせる恐れがある。英語に触れる、慣れる場が重要である。
- ・商店主が外国語で接客している事例が他市町にあるが、桑名市の商店は遅れているようだ。

・ジャズドリームで外国人を広く見掛けるが高速道路で移動し、市街地へは立ち寄れないようだ。一方で、市内に住んでいる外国人はスーパーで良く見かける。

桑名は歴史がある都市。歴史はあるが、工夫が足りないかもしれない。いま桑名に住んでいる外国人が、なぜ桑名に暮らしているのか、魅力を感じているのか調べることも良いことかもしれない。

【ビジョン5：地理的優位性を活かした元気なまち】

・桑名市は、幹線道路や鉄道は恵まれているが、都市整備の視点が足りないように感じます。また、桑名市が進めるまちづくりの構想を積極的にPRされてはどうか。

・インター周辺の用地を有効利用すれば、もっと発展するのではないかと
思う。

・コンパクトシティとして、中心市街地だけに資源を投入しすぎるのは良くない。鉄道沿線地域の利便性を高めるなど、バランスも大切ではないか。

・県内の鉄道駅は魅力に乏しいと感じている。桑名单独ではなく、沿線市町と連携して鉄道会社などと協議・要望する場を作ることが大切ではないか。

富田駅では鉄道事業者間で運行ダイヤの接続が悪く、学生が不便に感じる場合があり、学校や行政などが鉄道会社に働きかけていくことも大切と思う。

・コミュニティバスのリアルタイムの運行表示や桑名駅前にバス路線のマップ看板などが必要ではないか。観光客の受け入れ体制が弱いと思う。

・コミュニティバスは、もっと小さなワンボックスカーで駅と直結させて欲しい。ルートの細分化&ステーション化などで上手に回せないか。

いろいろな拠点を回りすぎて、時間がかかる。学生が利用しやすいように時間帯を工夫されてはどうか。

・市内の路線バスはどこに行くのか分かりにくい。東京はNの何番はどこに行くとか簡略表示してわかりやすくなっている。

【ビジョン6：桑名をまちごと「ブランド」に】

・遊休農地が増えているが、農地バンクの活用により農地の貸し借りが進んできたように思う。

長野県川上村でレタス作りを住み込みで1ヶ月経験したが、若者が多かった。これは年収が高いからと聞いた。県南部では恰好良い農家や漁師が増えている。行政が新しい時代の農業や漁業のイメージを発信していくことも大切だと思う。

・多度は獣害が生じている。山林の開発に行政として注文を付けていただくことができればお願いしたい。

・水田の開発、住宅化が進んでいる。水田の保水機能等が失われているようで心配だ。アンケート結果は、地区別でも関心度に差があるので、深く読み込んでほしい。

・市として自信を持って推奨できる食材は推してあげることも大切。ハマグリは少なからず知名度があり、これを活用しない手はない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・九華公園～七里の渡し周辺のウォーターフロントの整備、海鮮市場の整備などの賑わい創出が必要と思う。 ・桑名駅前にマンションが隣接して建設されているが、景観が悪い。市が目指す景観など、条例で規制しても良いのではないか。 ・PR方法が上手くないので、三重テラスツアーのほか、他団体のアンテナショップを研究されたい。 ・観光アプリの検証もお願いしたい。 ・いなべ市阿下喜は3月3日に商店街が各個店でひな飾りをしている取り組みがある。桑名の商店が自主的に取り組むことが大切ではないか。 ・市がブランドとしてお墨付きを与える制度、仕組みがあっても良い。例えば、折り鶴マークを市のお墨付きマークとして、街中に折り鶴マークがあふれるなどの取り組みがあっても良いと思う。 <p>【全体の総評】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政は、財政が厳しいからといって仕事を民間に押し付けることがあってはならない。今後の行政の責任はむしろ重くなっていく。指定管理者制度は全国的に見て上手く機能していない事例も多いが、丸投げ、責任逃れのような事例に陥らないよう心掛けていただきたい。 また、市民は厳しくなる財政をしっかりと注視していくことも大切だろう。 ・施策（基本計画）に魂を入れていくことが大切だ。既存の制度を束ねていくこと、活用していくことが重要になってくるだろう。総合計画と行政改革が一体となって進めていく姿勢は評価をしたい。庁内の横断的な連携の仕方が次のステップへの第一歩となると思う。 <p>6 その他</p> <p>7 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
<p>担 当 課</p>	<p>市長公室 政策経営課</p>